

富士山授業の学際的アプローチで山や地球環境と共生する社会の担い手を育む ——かぐや姫伝説から、やきそばの町、環境問題まで——

中村勝芳（静岡県立春野高等学校）

要約

富士山及びその周辺地域を学ぶ多様な視点について触れ、富士山の見方について理解を深める中で、人間と富士山との関わりを理解する。そして、将来社会の担う人として富士山やその地域社会に関心を持ち、学習したり問題解決していき、富士山と共生していこうとする姿勢を育む。

対象学年・教科・配当時間

高等学校（または中学校）、総合的な学習の時間、24時間

キーワード

社会の担い手、共生、伝説、町おこし、環境問題、かぐや姫、やきそば

背景

山について学習する際に、我々人間がどのように山と関わってきたのかを理解し、その山と共生していく姿勢を育むことはとても大切である。本指導案では、日本最高峰である富士山の人間との関わりを学習するために、4つのテーマについて順に学習活動を行う。

今回提案する学習テーマは、(1)「かぐや姫伝説を追いかける」、(2)「かぐや姫と富士山の今昔を探る」、(3)「富士山の町のパラドクス」、(4)「富士山の町の町おこし — B級グルメ『富士宮やきそば』」の4つであり、その設定背景は次のとおりである。「かぐや姫」や「やきそば」など生徒にとって比較的身近なものに着目し、富士山と人間との関わりや環境問題、町おこしなど、社会の担い手に必要なものを考えていきたい。

テーマ1：かぐや姫伝説を追いかける

富士山の周りになぜか伝わるかぐや姫伝説について理解を深め、絵本を製作する。富士山が噴火していた古代に人々が富士山が生きており、神がいるのではないのかと感じ、伝説が生まれた様子に触れる。

テーマ2：かぐや姫と富士山の今昔を探る

かぐや姫に着目して、この伝説が伝わる富士市とそこに人々の今昔に理解を深める。かつて巨大な山に住むとされた神が、現在公害などが深刻な町を「神の町」として文化面・観光面で発展させていく上での救世主になろうとしていることに触れる。

テーマ3：富士山の町のパラドクス

富士山が立地するがゆえに日本一美観を大事にすべきである富士市が日本有数の公害都市になってしまっているパラドクスについて理解を深める。水が豊富な富士山の町がゆえに、和紙の生産が始まり、経済成長とともに製紙工場が立地したが、住民が環境

や景観への配慮が足りず「煙の町」、「臭い町」になってしまったことを学ぶ。そして、現在、設備投資をし、煙を出さずに紙を生産している工場について触れ、住民の環境への努力が不可欠となることを考える。

テーマ4：富士山の町の町おこし — B級グルメ『富士宮やきそば』

富士市の隣にあり、富士山の町でもある富士宮市で起きた、やきそばを利用した町おこしについて検証し、富士山の町がゆえに町おこしのできた点や、それ以外に必要な点などについて考える。富士山から湧き出る豊富な湧水を利用してできた特徴的なやきそば麺を町おこしに活用したが、その背景に住民の努力が不可欠となっていたことを学ぶ。

授業展開

最初の Step 1 では富士山及びその周辺地域を学ぶ多様な視点について触れる。そして、富士山との関わりについて学ぶことの意義を確かめる。Step 2 においてフィールドトリップを実施し、富士山とその周辺地域について五感で感じる。Step 3 ではテーマごとに順に学習活動を行う。そして最後の Step 4 で、それぞれのテーマで学んだことから、富士山と人間との関係についてまとめ、今後この山と共生していくための課題などについて討議する。

Step 1 1 時限目 富士山について学習する意義を議論
富士山の見方、学習する視点を考える。

Step 2 2 時限目 フィールドトリップ
富士塚→原田湧水池公園→竹取塚→お宮横丁など
・感じたことをメモしたり、スケッチする。(車窓も含めて)
・参考のため、自然科学の学習になる場所にも案内する。

Step 3 3 時限目～23 時限目 テーマごとに順に探究活動を行う。

テーマ1：かぐや姫伝説を追いかける

目的 富士山の麓、富士市になぜか残るかぐや姫伝説について、その時代背景等について理解しながら、絵本を製作する。

3 時限目 資料等を用いながら、かぐや姫伝説の位置付け（竹取物語との関係）を学ぶ。

- ・ストーリーの内容より
- ・比奈地区に伝わる地名より
- ・奈良の都との繋がり（発掘物等の類似性より）

→比奈地区に伝わるかぐや姫伝説は、紫式部が「日本の物語のいでき祖」と呼んだ竹取物語の「親」、つまり「日本の物語の元祖」となる意義深いものとなるかも知れない。

4～9 時限目 かぐや姫伝説を読み解き、各自で手作り絵本を作る。

10 時限目 幼稚園を訪問し、できた絵本を読み聞かせる。(自分で学んだものを伝える学習)

- ・Windows Paintなどを活用。
- ・絵本は手作りが難しければ、すでに出てきているものもある。



図1 静岡県立吉原高校の生徒が作成した絵本と挿絵の1コマ

- ・国際理解教育の観点から、外国語訳を付けて海外に伝えることもできる。

テーマ2：かぐや姫と富士山の関係の今昔を探る

目的 かぐや姫をキーに、富士山とそこに暮らす人々の関係の今昔に理解を深める。

- 11時限目 奈良時代に、かぐや姫伝説がどのような状況で誕生し、当時に人たちにとってかぐや姫がどのような存在であったのかについて検討する。
- 12時限目 宿題として、近隣地域でかぐや姫が登場している場所の写真を（携帯電話等で）撮影してくる。それをもとに、現在の社会の中のどこにかぐや姫が登場しているかを考察する。
- 13～14時限目 現代社会にかぐや姫を登場させている人・団体へ、その理由の聞きとり調査を行い、その内容をもとに、現代社会の中でかぐや姫がどのように登場し、役割を果たしているかを考える。「神の町」から「紙の町」へ、そして再び「神の町」になろうとしている様子を検証する。
- 15時限目 成果をプレゼンテーション用ポスターにまとめる。

テーマ3：富士山の町のパラドックス

目的 富士山の町がゆえに富士市が神の町になり、日本一美観を大事にすべき町が日本有数の公害都市になってしまっているパラドックスについて理解を深め、その原因などから自分たち一人一人がすべきことを考える。

- 16～17時限目 富士山の町が煙の町になった経緯を追い、パラドックスについて考える。昔どんなに富士山の景観が美しかったかを知るために浮世絵鑑賞を行う。GIS分析などで、「どのように富士山の町が煙の町になってしまっているのか」や「この地域を訪れる人にはどのように富士山と煙が映っているのか」、「地域住民の富士山の町への配慮



図2 製紙工場の煙突と富士山

がいかにして足りないか」について理解を深める。

18～19時限目 設備投資をし、煙突から煙を出さずに紙を作っている製紙会社の話を聞き取りに行き、富士山の町に戻るキーとなる点について考える。

20時限目 成果をプレゼンテーション用ポスターにまとめる。
この事例から環境問題には一人一人のベイビーステップが大事ということ学ぶ。

- ・浮世絵などから近世（江戸時代）の人と富士山の関係を考えることもできる。

テーマ4：富士山の町の町おこし — B級グルメ『富士宮やきそば』

目的 富士山の町、富士宮市で起きた、やきそばを利用した町おこしについて検証し、富士山の町がゆえに町おこしのできた点や、それ以外に必要な点などについて考える。

21～22時限目 調べ学習や富士宮やきそばで町おこしに関わった方の講話を行うなどし、富士宮市のやきそばの町への発展過程を明かにする。そして、富士山の町がゆえに町おこしのできた点や、それ以外に必要な点などについて考える。

周囲の環境や特徴を的確に捉えることと同時に、それだけに頼っていても人の努力がないと成功しえないことを学ぶ。



図3 富士宮やきそば

23時限目 成果をプレゼンテーション用ポスターにまとめる。

Step 4 24時限目 テーマ2～テーマ4の最後に作成したポスターを見ながら、古代から現代までの富士山と人間との関わりについて考える。そして、今後どのように共生していくべきかやそのための課題について討議する。

備考

上記のテーマ以外にも、場所や時代に応じて「湧水が出る町で環境美化を図ろうとしているグラウンドワーク三島の成功へ経緯を探る」など、様々なテーマが考えられる。生徒よりテーマを出させることも有効である。

クラスの生徒数が多い場合は、Step 3はテーマ1を全体で行った後に、グループに分かれてテーマ2～テーマ4を担当するかたちで行うこともできる。その場合は、Step 4でグループごと成果を発表し合い、これまでの富士山と人間との関係についてまとめ、今後この山と共生していくための課題などについて討議する。配当時間は16時間程度になる。

教材・教室設備・必要な事前準備

ワークシート， マーカー， 模造紙， パソコンなど

参考

- かぐや姫と富士山研究会（中村勝芳・静岡県立吉原高等学校生徒23名＋杉山和明） 2009. 「かぐや姫と富士山の関係の今昔」を探る ―絵本製作から地域研究まで―. 名古屋地理 22: 20-22.
- 川端康成, ドナルド・キーン, 宮田雅之著 1998. 『対訳 竹取物語 ― The Tale of the Bamboo Cutter』講談社インターナショナル.
- 静岡県立吉原高等学校2008年度3年6組文・絵, 中村勝芳編著 2008. 『富士山のかぐや姫（えいご訳付き）』富士山かぐや姫学会.
- 中村勝芳, 伊藤智章, 生徒15名（静岡県立吉原高等学校） 2010. 地図を使った高校生の自主的研究活動とその成果 ―静岡県立吉原高等学校ちりぜみからの報告―. 名古屋地理 23: 8-10.
- 富士市教育委員会編 1987. 『富士市の竹取物語調査研究報告書』
- 丸茂湛祥 2006. かぐや姫伝説と大和朝廷. 富士山かぐや姫学会講演資料.
- 室伏信助翻訳 2001. 『新版・竹取物語 ― 現代語訳付き』角川書店.
- 森山京著, 宇野亜喜良絵 2006. 『竹取物語（日本の物語絵本）』ポプラ社.
- 吉永郷土研究会編 1999. 『富士市姫名郷のかぐや姫』
- 吉永郷土研究会編 2005. 『かぐや姫伝説と富士山 丸茂湛祥先生講演』
- 渡辺英彦 2007 『ヤ・キ・ツ・バ・イ・ブ・ル ― 面白くて役に立つまちづくりの聖書』静岡新聞社.

Fostering Members of Society Where People Live Together with Mountains and Earth's Environment, by Interdisciplinary Approaches of Mt. Fuji's Studies — From 'Kaguya-hime' legend to 'Yakisoba' noodle Town and Environmental Problem —

Katsuyoshi NAKAMURA (Haruno High School)

Overview

The lessons let the students understand the relationships between human beings and Mt. Fuji from ancient times to today, considering the various academic approaches to study the mountain and its area. Teachers help students develop the ability to study, solve problems, and live together with Mt. Fuji, as members of society.

Grade Level, Subject and Time Frame

High school or Junior high school, Comprehensive school hours (Integrated study)

24 hours

Keywords

Members of society, Living together, Legend, Local development, Environmental problem, *Kaguya-hime*, *Yakisoba*

Background

When we study a mountain, it is important to foster the ability to live together with the mountain, understanding how human beings are connected to it. In this teaching plan, students study 4 particular themes in order, to understand the relationship between human beings and Mt. Fuji, Japan's highest mountain.

These particular 4 themes are (1) "The *Kaguya-hime* legend," (2) "The relationship change of *Kaguya-hime* and Mt. Fuji from *Kaguya-hime* era to modern era," (3) "The paradox of Mt. Fuji's town," and (4) "Mt. Fuji's town's local development – Fujinomiya's *Yakisoba*, a B ranked meal." Their backgrounds are as follows:

Theme 1: The *Kaguya-hime* legend

The *Kaguya-hime* legend remains in Fuji city, which is located at the foot of Mt. Fuji, although the reason is not known. Students will see that people thought that there was God in the active volcano and the legend was born in ancient times. Based on the knowledge they gain, students will make picture books.

Theme 2: The change of relationship between *Kaguya-hime* era and Mt. Fuji in Fuji city in modern era"

Students will understand the change of the relationship between Mt. Fuji and its local people, focusing on *Kaguya-hime*. The god living in the huge mountain is now becoming the savior of its polluted local area, helping it to be a cultural and tourists' town.

Theme 3: The paradox of Mt Fuji's town

Focusing on Fuji city, students will study the paradox of Mt. Fuji's town. Although the surrounding area should be the most beautiful landscape in Japan because of the town's beautiful mountain, it is now becoming a polluted town. Students will look at the process of pollution:

Because the mountain area has plenty of water sources, the town was an area for hand-made paper manufacturing mills. Following industrialization, paper making companies built chimneys on the mills. The landscape was ruined.

Then, focusing on a paper company which paid for a paper mill with no chimney, students will learn that individual baby steps for protecting the environment is very necessary.

Theme 4: Mt. Fuji's town's local development – Fujinomiya's *Yakisoba*, a B ranked meal

Fujinomiya city, another Mt. Fuji local town, now has “*Yakisoba* town.” Students will find out the factors for the success of the town’s development, in terms of Mt. Fuji’s area and in general. Although the town was able to use a lot of water for the *Yakisoba* noodles, the local people’s effort and creativity was necessary.

Using familiar topics for students, such as legends and popular-food, students will think about environmental problems, local development, and the relationship between the mountain and people.

Procedure

In Step 1, students will learn various academic viewpoints to look at Mt. Fuji and its surrounding area in class. They will also realize the significance of studying the mountain and its area. Next, students will experience the mountain and its area with the five senses on a field trip in Step 2. In Step 3, the class will study each theme in the order below. Finally, students will debate about how they should get along with the mountain in the future, considering the results from each theme.

Step 1	1st period	Discuss the significance of studying Mt. Fuji Think about the different viewpoints to study about Mt. Fuji
Step 2	2nd period	Field trip <i>Fuji-zuka</i> — Harada Spring Water Park — <i>Taketori-zuka</i> — <i>Omiya-yokocho</i> etc. - Students take memo notes about whatever they feel (including views from the car). - If possible, introduce places to study regarding the natural science viewpoint too.
Step 3	3 – 23rd period	Study each theme in order as follows.
	Theme 1:	The <i>Kaguya-hime</i> legend
		Aim: To make their own picture books by understanding the story and the back ground of the legend, “ <i>Kaguya-hime</i> ,” which remains in Fuji city, the foot of Mt. Fuji
	3rd period	Students look at the <i>Kaguya-hime</i> legend’s location (and the relation to <i>Taketori-monogatari</i>). - In terms of the contents of the story - In terms of the place names - In terms of the connection to Nara (the old capitol of Japan) * <i>Murasakishikibu</i> , the writer of <i>Genji-monogatari</i> , a famous Japanese classical novel, called <i>Taketori-monogatari</i> “the father of Japanese stories.” If the <i>Kaguya-hime</i> legend is the origin of <i>Taketori-monogatari</i> , then the <i>Kaguya-hime</i> legend would be the founder of Japanese stories!
	4 – 9th period	Read the original story, and students make their own picture book.

- 10th period Visit a kindergarten, and read the picture book in front of children to observe the reaction from the children.
- Windows Paint is recommended to color them
 - If making the picture book is difficult for some reason, premade books are available



Fig.1 Picture books drawn by students of Yoshiwara high school and one of the pictures in the book

- In terms of Education in International Understanding, adding a foreign language caption and sending the book to another country can be an additional plan.

Theme 2: The change of relationship between *Kaguya-hime* era and Mt. Fuji in Fuji city in modern era

Aim: To understand the past and the present change of the relationship between Mt. Fuji and its local people, focusing on the *Kaguya-hime* legend.

11th period Students imagine the situation in which the *Kaguya-hime* legend was born in Nara era and how the legend was for the people at that time using reading materials.

12th period As an assignment, students take *Kaguya-hime* photos in their neighborhoods using their cell phones. In class, they clarify the place where *Kaguya-hime* would appear in modern areas.

13th – 14th period Following the results in the 12th period, students interview the people who invite *Kaguya-hime* to appear in the area. Then, they discuss how *Kaguya-hime* is acting in the modern society and her role. Before, Fuji-city changed from “*Kami* (God)’s town” to “*Kami* (paper)’s town,” and now *Kaguya-hime* is changing the city from “*Kami* (paper)’s town” to “*Kami* (God)’s town.”

15th period Put the results together on a poster.

Theme 3: The paradox of Mt. Fuji’s town

Aim: To understand the paradox that Fuji city, one of the towns surrounding Mt. Fuji, is becoming polluted although the city should protect the beautiful landscape with the mountain. Then, they will discuss about what they should do to change the city to be kind to the environment.

16th – 17th Students study the paradox of Mt. Fuji’s town, looking at the process in which Fuji city became a polluted city. To understand how beautiful

the landscape of Mt. Fuji’s area was, students can use *Ukiyoe* (Edo era print). By GIS analysis, they will see “the places where chimneys is located, and how the landscape are viewed by the visitors to the city.” They will also consider what is lacking as residence of beautiful Mt. Fuji area.



Fig.2 Chimneys of paper mill companies and Mt. Fuji

- 18th – 19th period Paper making company made big efforts to build chimneyless mill from smoky town. Students will interview the management staffs to learn the process of how to make the environment friendly company.
- 20th period Put the results together on a poster. Students will learn the importance to take a baby step toward environmental problem.
 - By viewing *Ukiyoe*, students can also learn the relationship with Mt. Fuji in Edo era.

Theme 4: Mt. Fuji’s town local development – Fujinomiya’s *Yakisoba*, a B ranked meal

Aim: Students will observe the local development process of Fujinomiya city, another Mt. Fuji local town, as *Yakisoba*’s town. They will study its essential factors for the success.

- 21st – 22nd Using reading materials and interviewing key people, students will understand the *Yakisoba* town’s process. Then they will discuss the essential factors for its success. (Students will learn the importance of the locations to be famous, but also learn that without men’s power, this successful story wouldn’t have happened.)



Fig.3 Fujinomiya’s *Yakisoba*

- 23rd period Put the results together on a poster.
- Step4 24th period Looking at the posters the students made at the end of Theme 2 to Theme 4, students will discuss the relationship between Mt. Fuji and human beings from ancient times until now. Then they will discuss about “how they should live together with the mountain and how they should solve the problem.”

Note

Depending on the time and condition, the themes can be changed. For example, “To see the activity of

Groundwork Mishima (NPO), which preserves Mt. Fuji's spring water.”

If the number of students is large, we can split into 3 groups from Theme 2 to Theme 4 in Step 3. Then in Step 4, each group does presentation and discuss what they've learned. This process can shorten the total hours of 16 hours instead of 24 hours.

Materials and Setting

Worksheets, Colored markers, Poster papers, PC etc.

References / Resources

- The society for the study of Kaguya-hime and Mt. Fuji (Nakamura, K., 23 Students of Yoshiwara High School, and Sugiyama, K.) 2009. Seeking for the relationship between Kaguya-hime and Mt. Fuji from Ancient Time to Now –From Picture Book Making to Regional Studies, *Nagoya Geography* 22: 20-22. (written in Japanese)
- Kawabata, Y., Keene, D., and Miyata, M. 1998. *The Tales of the Bamboo Cutter, with one by one English translation*. Tokyo: Kodansha International. (written in English and Japanese)
- 36HR of Yoshiwara High School, Shizuoka Pref., Nakamura, K. ed. *Kaguya-hime of Mt. Fuji, with English captions*. Shizuoka: The society of Mt. Fuji and Kaguya-hime. (written in Japanese and English)
- Nakamura, K., Ito, T., and 15 Students of Yoshiwara High School, Shizuoka Pref. 2010. High School Students' Voluntary Study Using Maps and the Results – from Chiri-zemi. *Nagoya Geography* 23: 8-10. (written in Japanese)
- Fuji City Board of Education ed. 1987. *A Report for the Research of The tales of the Bamboo Cutter in Fuji City*. (written in Japanese)
- Marumo, T. 2006. Kaguya-hime and Yamato Capital. Notes of Marumo's Lecture in the society of Mt. Fuji and Kaguya-hime. (written in Japanese)
- Murofushi, S. trans. 2001. *New Version of The tales of the Bamboo Cutter*. Tokyo: Kadokawa Shoten Publishing. (written in Japanese)
- Moriyama, K., Uno A. picture. 2006. *The tales of the Bamboo Cutter (A Picture book of Japanese Tales)*. Tokyo: Poplar Publishing. (written in Japanese)
- The society for the study of Yoshinaga District. ed. 1999. *Kaguya-hime of Himena District in Fuji City*. (written in Japanese)
- The society for the study of Yoshinaga District. ed. 2005. *Kaguya-hime legend and Mt. Fuji, Notes of Mr. Marumo's Lecture*. (written in Japanese)
- Watanabe H. 2007. *Ya-Ki-So-Bible, – An Interesting and Useful Bible for Town Development*. Shizuoka: Shizuoka-shimbun. (written in Japanese)